

京都市看護職能力向上・定着確保研修
2022年度 新人看護職員教育プログラム アンケート調査結果報告書

1. 調査目的

京都市看護職員の人材育成の一助になることを目的に、新人看護職員様を対象に研修会を運営している。参加者の能力向上・定着へのよりよい支援につなげ、研修内容を検討するため、アンケート調査を実施した。

2. 調査概要

1) 調査対象者

2022年度新人看護職員教育プログラムに参加施設（看護部責任者および教育担当者宛て）7施設と、研修修了者10名を対象とした。

2) 調査内容

看護部責任者および教育担当者へのアンケート調査は10項目とした。内容は、研修内容（研修参加が現場で活動するために活かされているか、研修時間や頻度、研修テーマについてなど）とフォローアップ研修への希望とした。修了者への調査は、13項目とした。内容は、上記に加え、現況と研修会参加者同士の交流があるかを問う内容とした。

3) 調査方法

アンケート調査の願いを郵送で配布し、回答はGoogleフォームでの回答を依頼した。アンケート調査は施設の看護部責任者および教育担当者用と修了者用の双方ともに約10分で回答できる内容とした。また、無記名調査とした。

4) 調査期間

2023年12月8日（金）～2024年1月18日（木）

3. 調査結果

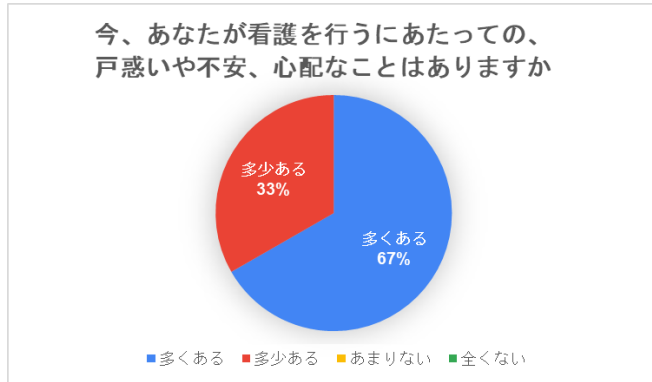
1) 回答数（回収率）

参加施設の看護部責任者及び教育担当者への調査は7施設中、5施設の回答があった（回収率71%）。修了者は10名中6名の回答があった（回収率60%）。

2) 修了者の現況

修了者が働いている部署は、地域包括ケア病棟、急性期病院、神経内科病棟、産婦人科病棟であった。

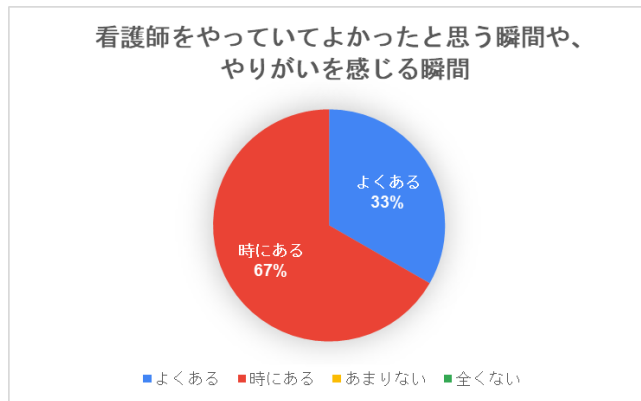
3) 修了者が現在、看護を行うことへの戸惑いや不安、心配があるか



【選択理由（自由記載）】

一人に対応することも多くなってきたことからアセスメント能力や観察力の未熟さを実感し、そのことが看護を行うにあたり不安に感じる。

4) 看護師をやっていてよかったと思う瞬間や、やりがいを感じる瞬間

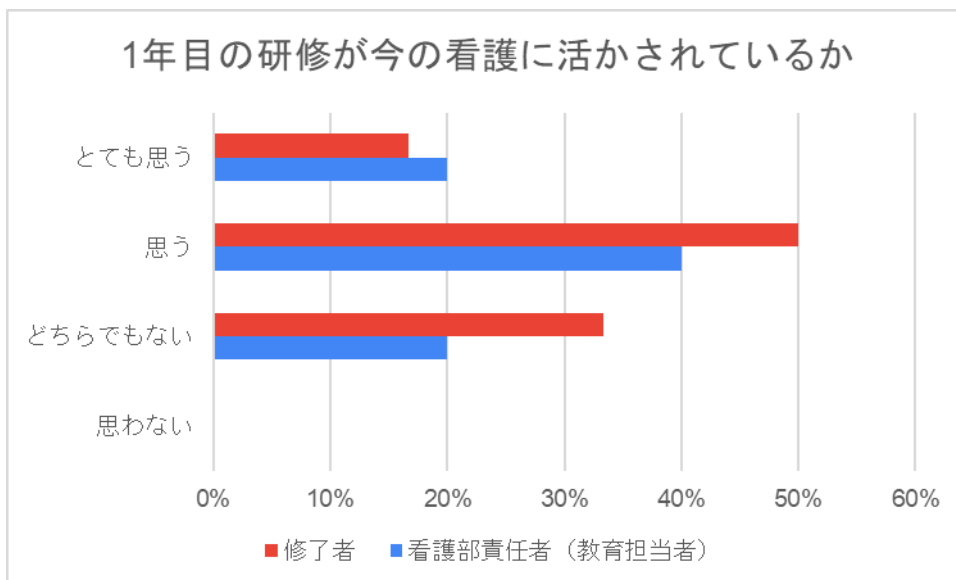


【選択理由（自由記載）】

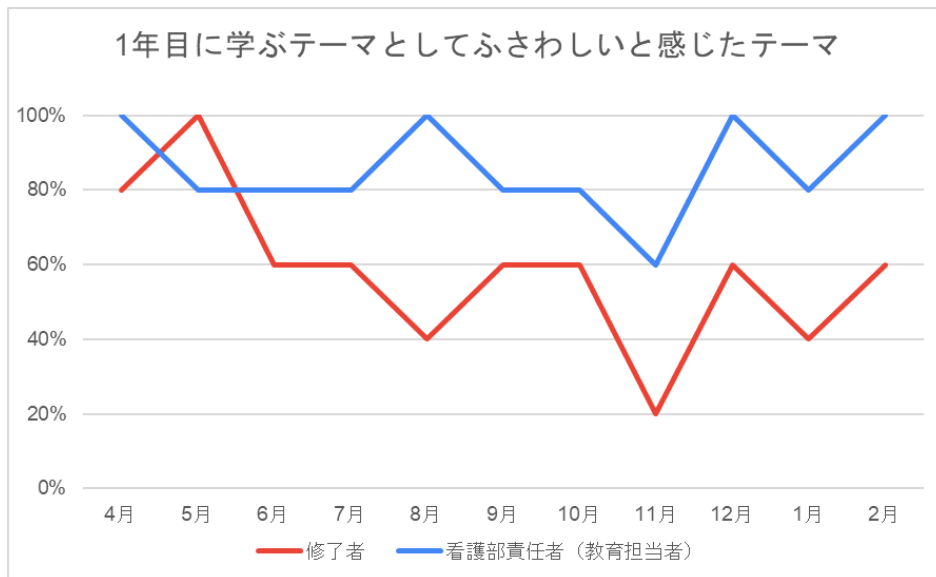
ありがとうやあなたで良かったと言われたとき、患者や家族からの感謝を伝えられたとき、やってもらって改善したという言葉をいただいたとき、先輩看護師から褒められたとき

5) 1年目の研修について

①今の看護に活かされているか



6) 1年目に学ぶテーマとしてふさわしいと感じたテーマ（複数回答）



研修テーマ			
4月	看護職として必要な基本姿勢と態度について確認してみよう	10月	おなかが…と訴えられたときに
5月	ショックのサインを見逃すな！	11月	看取りの際のケアのきほん
6月	息が…と訴えられたときに	12月	ハイリスク薬について知ろう
7月	胸が…と訴えられたときに	1月	人工呼吸器の装着患者さんの基本のきほん
8月	倫理的であるということとは、ストレスマネジメント	2月	2年目に向けて、働くことをみつめなおしてみよう（学びを共有する発表会）
9月	意識が…というときに		

4. 結語

この調査結果で得られた結果を踏まえ、京都市の看護職における人材育成の一助になるよう、次年度の研修企画に活かしてまいります。

最後になりましたが、調査に協力してくださった皆様に厚く御礼申し上げます。